

こどもの城 ニュース

1998・4・15 No.84

発行 / [こどもの城]広報部 ☎ 03-3797-5666
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-1



「やみこんぼろ」

やあ、ぼくがだれたかわかるかい。そう、カマキリ。君とぜんぜん違う顔だけど目も口もあるんだ。君と同じ命を持っているんだよ。
えっ、そんなこと知ってるって。自然界の不思議はもっと深いものだって。うん、そうか。でもぼくの顔、こんなにじっくりみたことなかった。ぐっと近づいただけで新しい世界に来たみたいじゃないかい。

(こどもの国=横浜)



“ファンタジーの世界”を遊ぶ

もうすぐゴールデンウィーク。[こどもの城]では、〈あそび〉の中の「不思議のとびら」を探して、今まで気づかなかった“なにか”——新しい発見や人との出会いなど——を見つけてもらおうと、たくさんのプログラムを行います。

今月号は、その中から、人気のテレビゲームをヒントに、[こどもの城]独自でアレンジして、おおぜいの子どもたちが一緒にファンタジーの世界で遊ぶ大型の“ごっこ遊び”のプログラム「モンスターグランプリ」を紹介します。

テレビ・ゲームをヒントに大型の“ごっこ遊び”

“流行しているもの”には、子どもたちの興味をひく“なにか”があるはず。この“なにか”が、プログラムを考えたときのヒントになります。

「ドラゴンクエスト」に代表されるテレビ・ゲームの主人公になってストーリーを体験するロール・プレイング・ゲーム(RPG)から、みずからが参



加して楽しむ大型の“ごっこ遊び”が作られました。子どもたちが主人公になって、仲間を作りながらゲームなどの課題をクリアしていきます。“仮想世界(バーチャルリアル)”ではなく、“ファンタジーの世界”をみんなでいっしょに作るプログラムです。第1弾「キャスルクエスト」(写真上)は1988年に行われました。

「カード」も取り入れ、遊びを豊かに

「カード(集め・ゲーム)」は、子どもたちに根強い人気があります。「カードダス」をはじめ、最近ではさまざまなカードを使ったゲームも人気です。

[こどもの城]の大型“ごっこ遊び”にも、この「カード」を取り入れ、プログラムのパワーアップを図りました。いろいろなゲームに参加してモンスター(カード)やパワーアップの星シールを集め、最後に「モンスターグランプリ」に参加し、カードを使った対戦を行うというもの。32種類のモンスターのキャラクターは、ボランティアとスタッフが一緒に考えてオリジナルです。

5月5日「こどもの日」は子どもの入館無料

5月5日の「こどもの日」から「児童福祉週間」。「こどもの城」では、休日が続くゴールデンウィークを「児童福祉週間特別期間」として、たくさんの特別プログラムを行います。

身近にある“マシン(機械)”らしいマシンのバイク(オートバイ)とそれをあやつる人間を取り上げた「発見!! バイクワールド 第1弾 ザ・バランス~ライダーに生まれ」のほか、昨年好評だったプログラムをパワーアップさせた「モンスターグランプリ'98」、家族で楽しめるパフォーマンスを日替わりで上演する「こどもフェスティバル」(5月3~5日、青山円形劇場)など、楽しいプログラムがいっぱいです。

また、5月5日の「こどもの日」は、18歳未満の子ども入館は無料になります。

▲[こどもの城]全館を使う大型“ごっこ遊び”の「モンスターグランプリ」(写真は、昨年のスナップ)。「キャスルクエスト」(1988年~92年、96年)、「キャスルファイト」(1993年~95年)に続いて、昨年からスタートしました。

モンスターグランプリ'98 MONSTER GRANDPRIX '98



新モンスター・カードも登場!

今年の「モンスターグランプリ'98」には、新しいモンスター(カード)が8点登場します。それも、[こどもの城]に遊びに来てくれた子どもたちにデザインしてもらったもの。どんなモンスターが登場するか、当日のお楽しみ。君の考えたモンスターが、カードになっているかもしれません。

「モンスターグランプリ'98」は、5月2~5日に開催されます。

“仮想世界”でなく、人と人とが “ふれあう”ことのできる遊びを プレイ部門のスタッフの話

題材は、テレビ・ゲームやテレビ・アニメによっていますが、コンピュータの仮想世界(バーチャルリアル)で遊ぶのではなく、生身の人と人がふれあうことができる遊びを意図したものです。テレビゲームに対するアンチテーゼの意味合いもあるけれども、みんなでダイナミックに“ごっこ遊び”を楽しもうという素朴な気持ちから生まれたものです。

“ごっこ遊び”には不思議な魅力があります。何かになりきる楽しさ、演じる楽しさ、そしてなによりも仲間たちとイメージを共有し、ファンタジーの世界だけで通用する言葉でおしゃべりする楽しさにあふれています。「モンスターグランプリ'98」とおして、いろいろな人とふれあい、交流してもらえればと思っています。



ほくらのサウンド'98 元気いっぱいに成果を披露

[こどもの城]の音楽講座・クラブの子どもたちが1年間の活動の成果を披露する「ほくらのサウンド'98」が、3月20~22日に青山円形劇場で行われました。合唱団(左上)、エレクトリック・アンサンブル(左下)、集まれ! みんなのリズム(上)のステージ風景。

「幼児グループ」修了式行う

[こどもの城]の保育プログラムの1つ「幼児グループ」の修了式が3月21日に行われました。感激で涙を流すお母さんたちの姿も見られましたが、子どもたちは、新しい門出に元気いっぱい。



ボランティアが力を合わせて 「ひらけ! あそびのおもちゃ箱」開催

[こどもの城]のボランティアが一同集まって人形劇などの公演をする「ひらけ! あそびのおもちゃ箱」が3月21~22日に開かれ、公演のあいまには、紙コップの人形作りや子どもたちも参加するミニ人形劇場などが行われました。

「発見!! バイクワールド」など、多彩なプログラムの中から、「不思議」を探してください。

4月29日～5月5日の「ゴールデンウィーク特別期間」の主なプログラムは、次のとおりです。

◆発見!! バイクワールド 第1弾

- ◆ライディング～ライダーを解剖する(4月25日～7月5日/ギャラリー)
◆わいわいスタジオ～オートバイでコンサート!(5月3～5日/音楽スタジオB)
◆ザ・バランス ステップゲームでライダーに生まれ!(4月29日、5月2日～5日/体育室)
◆ザ・バランス 君のライダー適性を測定(4月29日～5月5日/健康開発室)
◆ザ・バランス 楽しく泳いで水中バランス(4月29日～5月5日/プール)
◆パソコンであそぶ(4月22日～5月20日/パソコンルーム)
◆魔法のグラフィックス
◆映像であそぶ(4月25日～8月31日/AVライブラリー)
◆のりもの特集
◆音楽であそぶ(4月29日、5月2～5日/音楽ロビー)

ゴールデンウィーク(児童福祉週間)特別期間 4月29日～5月5日
こんなところに、「不思議」のとびら

- ◆どかすかどんどんサンパチーム!
◆みんなでつろう! カーニバルの楽器
◆ぐるぐるわんさか世界の楽器!
◆うたごえパラダイス
◆人形であそぶ(5月3～5日/研修室)
◆ゴールデンウィーク人形劇フェア
◆おはなし広場
◆こども歳時記「こどもの日」(4月21日～5月5日/遊形スタジオ)
ひかるくねりこい(親子)/こいけん(小1～)/のほりこい(小3～)



▲こいけん
▶ひかるくねりこい

5月3日～5日 青山円形劇場で「こどもフェスティバル」
家族で楽しめる日替わりパフォーマンス

ゴールデンウィーク特別期間の恒例プログラムの一つ、「こどもフェスティバル」が、5月3～5日に青山円形劇場で開催されます。

照明や音響効果などの設備が整った劇場空間で、家族そろって楽しめる音楽や演劇のパフォーマンスを日替わりで上演するプログラム。

3日は、ドンドン、ドンドンと元気いっばいの和太鼓の演奏と楽しいお芝居「こっからまつり」(出演=たまっ子座)。4日は、心が洗われるような音色の古楽器を使った楽しいコンサート「愉快なコンサート」(出演=ロバの音楽座)。5日は、「こどもの城」の音楽が大好きなお兄さんたちが繰り広げる、楽しさいっぱいのバンドコンサート「おんがくがスキ!」(出演=おんがくがずき)です。



音楽する楽しさいっぱいの「おんがくがずき」のステージ。

「こどもの城」のホームページ開設

インターネットを通して、いつでも「こどもの城」、青山劇場・青山円形劇場にアクセスできるように、ホームページを開設しました。
◇「こどもの城」 http://www.kodomonono-shiro.or.jp/
◇青山劇場 http://www.aoyama.org/

5月の「こどもの城映画劇場」

毎月第2日曜日に開催している「こどもの城映画劇場」。5月10日は、「母の歳月」(監督=Francine Desbiens/13分31秒)『シンデレラ・ベンギ』(監督=Janet Perlman/9分57秒)、『ストリート』(監督=Caroline Leaf/10分12秒)の3作品を上映します。上映時間は、11時30分、1時30分、2時30分、3時30分の4回。会場は4階音楽スタジオB。

『時間』テーマに映像作品

「ユースクラブ」が制作、AVライブラリーで視聴できます

小学校5年生～中学校3年生を対象にした「遊び」のクラブ「ユースクラブ」の平成9年度の最後の活動が3月14・15日に行われました。内容は、4班に分かれて「映像作品」を作るというピックアッププロジェクト。

富山県こどもみらい館

こどもの城となかまたち
スタッフを作るプログラム充実

富山県こどもみらい館(写真)は富山県のほぼ中央に位置する「県民公園太閤山ランド」という自然公園の中にあり、館の周囲には広大な芝生広場やプールなどのスポーツ施設が設置されています。平成4年7月に開館。富山県内では初めての大型児童館施設ということもあり、毎年25万人もの来館者を集め、隣の石川県や岐阜県をはじめ新潟県などからも、自家用車を使って多くの人たちが訪れます。太閤山ランドのなだらかな傾斜を生かしながら、周囲の景観と調和するように建物全体が曲線でできており、色も山の赤土をイメージした色で統一されています。館内は、全体に開放的な空間

プログラム」というソフトの充実に特徴があります。一日いても飽きないし、2度3度と来る子どもたちも退屈しないのはこうしたところに理由があるようです。

今年のゴールデンウィークには、展示エリアや「つくる」遊びのエリアを中心に「こどもアートミュージアム～ブルーノ・ムナーリ展」(4月25日～5月31日)を開催します。

お問い合わせは、富山県こどもみらい館 ☎0766-56-9000へ。



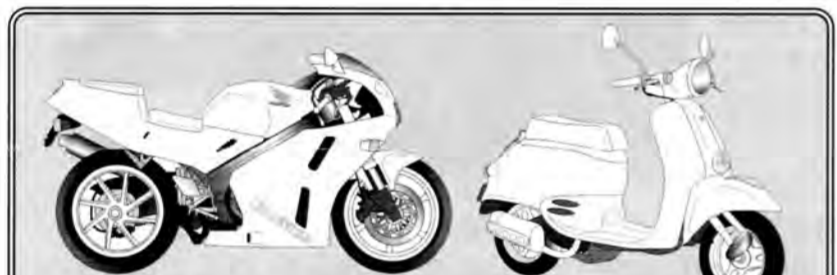
The 10th Anniversary たいそう発表会 in 青山円形劇場「開く

体育部門の「ジュニア新体操」「シニア新体操」「幼児体育」の演技発表会が、3月8日、音響や照明がふんだんに使える青山円形劇場で、劇場部門スタッフの協力を得て行われました。色とりどりのライトをあびて演技をする子どもたちの姿は、いつも以上に輝いていました。国土館大学新体操部、日本女子体育大学新体操部、ジャスコ新体操クラブ、秋川新体操クラブ、ビューR S G、田中信和ダンススクールなど多彩なゲストが華をそえました。



ラグビー元日本代表選手の梶原宏之さんが「タグ・ラグビー」を指導

ラグビーの元日本代表選手・梶原宏之さんが、3月29日に、危険なプレイが少なく、どこでも手軽に楽しめる「タグ・ラグビー」(「こどもの城ニュース」第83号参照)の指導に訪れました。春休み特別期間の体育プログラムの1つ「トライ&ゴール～鬼ごっこはスポーツの原点だ」の1コマ。実際にプレイする機会がほとんどないラグビーですが、安全性が考慮されたルールのもとで、子どもたちはラグビーの楽しさ、おもしろさを満喫していました。



「みんなの夢バイクコンテスト」作品募集中

「みんなの夢バイクコンテスト」は、「バイク」のボディをキャンバスに、思い思いのデザイン画を描くコンテスト。オートバイとスクーターの2つのタイプから選びます。さまざまな色やイラスト、文字などを自由に使って、みんなの「夢」をバイクのボディに表現してください。応募作品の中から20作品を選んで展示、みんなの投票でそれぞれ1作品を選び、実際にバイクにカラーリングします。締め切りは5月25日(当日消印有効)。

応募用紙は、「発見!! バイクワールド」の会場に用意してあります。また、インターネット(http://www.hmcs.co.jp/kodomo-bike/)を利用して、応募用紙の入手、投票などもできます。詳しくは、こどもの城「夢バイク実行委員会」☎150-0001 渋谷区神宮前5-53-1 ☎03-3797-5666へお問い合わせください。

Sanctuary Hall 'こどもの日' Concert. Includes program details, orchestra list, and ticket information.

する人、出演する人、演出する人など役割を交代しながら、撮影が進みました。シナリオに合わせて順番に撮影するのはなく、本当の映画作りのように、場所の都合などに合わせて、最後の場面から撮影を始めた。2月の集まりでは、共通のテーマを「時間」と決め、4班に分かれて、準備作業を開始。それぞれのストーリーを考え、必要な小道具なども作り始めました。3月14日は、午後集合して、班ごとに行動開始。カメラを操作

招いて試写会を開催しました。作品タイトルは「ひげだんじん」「えー!」「時間がくるった」「未来のテレフォンショッピング」。1作品が約4分。撮影風景を交えた完成作品はAVライブラリーで視聴することができます。

Information section for Aoyama Theatre and Aoyama Circular Theatre, listing various performances and ticket prices.